

1/20 大阪にカジノはいらない！講演会

講演：「カジノが生み出すギャンブル依存症の危険性」

講師・越智祥太さん（精神科医）

日時：2024年1月20日（土）
午後2時～4時半（1時半開場）
場所：河内長野市立ノバティホール
（河内長野駅前のノバティながの南館3階）
参加チケット：前売り 500円（当日600円）



越智祥太（さちひろ）さん

カジノ建設でギャンブル推進

維新の大阪府市政は大阪市夢洲のカジノ設置計画を強引に進めています。夢洲は、軟弱地盤の上に産業廃棄物などで埋め立てられた人工島です。ごみの最終処分場にもなっています。土壌が汚染され、今もズブズブと沈み続けています。その地盤の上に多額の税金をつぎ込んで、高い建築物を建てられるのでしょうか？

カジノはギャンブル＝賭博です。ギャンブル依存症は、本人が気づかぬうちに、どんどん進行していき、気づいた時にはもう手遅れなのです。維新府市政は「依存症対策をする」と言っていますが、最も有効な対策は、カジノをつくらぬことです。



野宿者に入院を勧める越智医師

地域の最前線でギャンブル依存症に立ち向かう

今回の講演をしていただく越智祥太（さちひろ）さんは、横浜・寿町の「ことぶき共同診療所」などで精神科医として地域の医療の最前線に立ってきました。横浜市のカジノ反対運動の中で、「ギャンブル依存症、マシンに依存するパチンコ、スロットが7～9割で、若者のゲーム・ネット依存は膨大な予備軍である」「稀な勝ちを盛大に祝うなど様々なトリックを有するギャンブル依存高率化装置で危険。最大の予防は作らないことだ」と訴えました。

2022年、夢洲カジノの是非を問う住民投票運動を実施するにあたり、越智さんに講演をしていただきました。カジノ依存症の深刻さについての、分かりやすいお話は、住民投票運動の成功の大きな力になりました。

現在も取り組んでいるカジノ反対運動を広げていく上で、カジノの危険性とギャンブル依存症の問題を訴える上で、是非、知っていただきたい内容をお話しされます。多くの方々の参加を呼びかけます。

主催：「カジノを止めるさやまの会」（連絡先：小芝英俊 090-3966-4945）
「夢洲カジノを止める松原市民の会」（連絡先：柴田 昭二 090-6606-7470）
「カジノを止める河内長野連絡会」（連絡先：藤丸 照代 090-6328-0639）